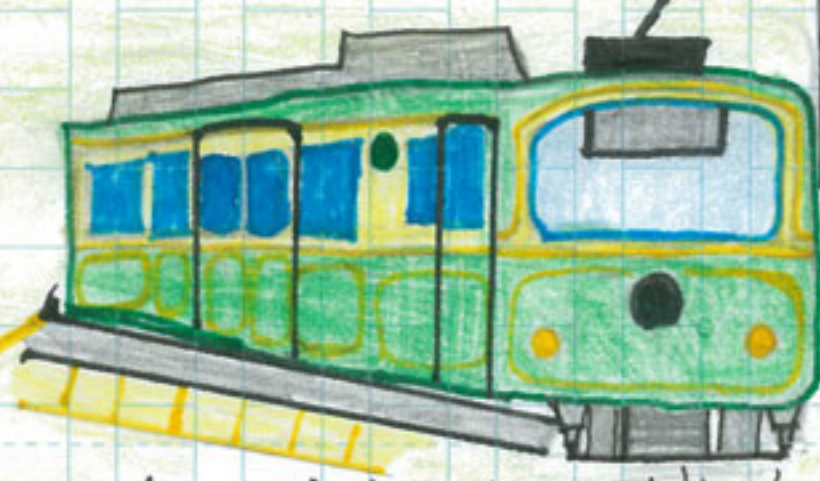


江ノ電新聞

2013.8.17 発行 森口 碧

江ノ島電鉄では一九九七年から自動改札機が導入された。なぜ自動改札機が導入されたか、実際に藤沢駅に行き、検証してみた。

七月二十三日朝の通勤時間帯



藤沢駅で乗客が下車している様子

ストップウォッチとカウンターを使い、一台の自動改札機を通過する人数と通過し終わるまでの時間を測定

到着時間(午前)	通過した人数(人)	所要時間(秒)	全乗客が通過おまての所要時間(分)
1 7:34着	44人	1.16~1.25秒	3分
2 7:45着	37人	1.06~1.18秒	2分
3 7:58着	42人	1.06~1.25秒	3分



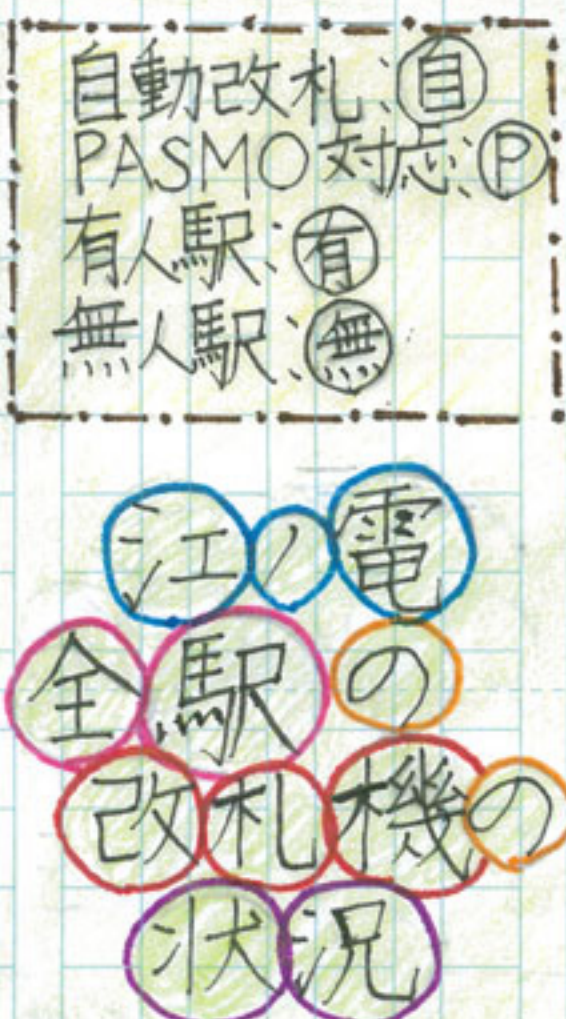
検証結果は、自動改札機を通過した人数は平均一つの改札口で四〇人前後だった。所要時間は一秒程度。全乗客が通過するまでの所要時間は二〜三分だった。自動改札機は全体で四台あるので、約一六〇人の人が通過したと考えられる。そのため駅員ならば複数の人

江ノ電からJRに乗りかえる人のために乗りかえ専用ボタンがついて



(江ノ島電鉄) 鎌倉 ← 藤沢
 通用発売当日限り 下車前途無効
 鎌倉駅発行 M小

昔の切符箱入り江ノ電もなかり



江ノ電の自動改札機の歴史

1997年(平成9年)自動改札機が導入される。
 2007年(平成19年)PASMOが導入され、SUI-CAも利用可能となる。
 現在は切符を利用する人は少なく、PASMOやSUI-CAを利用する人が増えている。2010年に16524人の人が藤沢駅を利用した。昔は駅員が乗客の切符をチャックしていた。自動改札機が導入されたのは、駅員の負担を軽くするためなのか。(参考)1998年の藤沢駅の1日平均乗車人数は12246人だった。

今はない、昔の江ノ電の切符はおもむきがある。私には気に入っている。

自動改札機の普及により、改札を通過するのにかかる時間が短くなる。このことがスムーズな流れが、自動改札機は、この先も進化していく。たのしみ、興味をもったので注目していき

編集後記



東急電鉄の昔の改札の写真電車とバスの博物館

